

ワールド・カフェ 「東山区未来の演出家ミーティング」

実施報告

【事業概要】

実施日時：平成22年2月7日（日）午後2時～4時

実施場所：東山区総合庁舎1階 交流ロビー

参加者：東山区に在住、または通勤・通学の18歳～35歳で、東山区のまちづくりに関心のある若者（陶芸家、消防団員、消防署員、警察官、福祉施設職員、保育士、大学生、区役所職員など）32名

内容：ワールド・カフェ*という会話手法により、テーマについて、参加者同士で対話

* ワールド・カフェとは・・・

「知識や知恵は、フォーマルな会議の場で生まれるのではなく、人々がオープンに会話し、『カフェ』のようにリラックスして、本音を語り合うことのできる空間の中で生まれる」という考え方に基づいた話し合いの手法。

この手法は、比較的多人数の集まりで、設定したテーマに関して、話し合いの場を作り出すのに効果的で、組み合わせを替えながら、楽しく活発に議論を進めていくうちに、擬似的に「全員と話している」気分になるよう設計されている。話し合いの中から良いアイデアが浮かんだり、新たな発見をしたりすることが期待できる。

テーマ：未来へ贈るメッセージ／「理想の東山」と「その中の私」

<1> ラウンド1

4人ずつ8テーブルに分かれ、テーマに沿って、イメージをつくる



<2> ラウンド2, 3

1テーブルに1人(ホスト)だけ残し, 他の者は旅人となって, 他のテーブルへ行き, 組み合わせを替えながら, 同じテーマに沿って, 対話を2回繰り返し



<3> 振り返り

対話を通じて得たものを各自振り返り, 発表し合っ, 全体で共有

参加者の意見

(問) 未来の東山は, どんなまちであって欲しいですか?

自然環境	・自然を大切にすまち ・穏やかな気持ちになれるまち
産業・観光	・活気のあるまち ・訪れる人が刺激を受けるまち ・もっと外に開かれたまち ・伝統文化をよりよく魅せられるまち ・住民も観光客もみんなが気持ちよく過ごせるまち ・伝統文化を残して, 新しいものを採り入れたおしゃれなまち
保健・福祉・教育	・全てにユニバーサルデザインを採り入れ, 楽しく過ごせるまち ・子どもやお年寄りにやさしく住みやすいまち ・子どもの笑い声を増やして, 環境の良いまち ・子どもが笑って暮らせる明るく安全なまち
景観・都市基盤	・風情あふれるおしゃれなまち ・人々が公共の乗り物を利用して訪れるステキなまち ・伝統や文化, 東山らしさを保ちつつも, 住民が安心して暮らせるまち
コミュニティ・自治	・関係機関の連携が強いまち ・若い世代が集まる活発なまち ・高齢者と若者がつながりのある笑いの多いまち ・大学生が活躍できるまち

(問) 理想の東山になるために, あなたは今日出会った人たちと一緒に, どんなことをしたいですか?

自然環境	・人や自然を大切にす ・観光客がクルマで来なくても歩いて回れるよう, 分かりやすいマップづくり
産業・観光	・観光ルートの創設 ・シャッター通りをなくしていきたい ・大事なものを, 次世代の人たちも大事にすたくなるように守る ・「東山ではこんなことができるし, こんなものがあるんだよ!」ってPRして, メインストリートとなる道を見つけに歩き回りたい
保健・福祉・教育	・地元を離れず住み慣れたまちで子どもを育ててほしい。そのためのアイデアを考えたい ・子どもや観光客にいいところを教える
景観・都市基盤	・公共交通の充実を働きかける ・安心できる安全なまちの像を考えたい
コミュニティ・自治	・様々な立場の人が集まって情報交換をし, 現状把握をす。そのうえで, それぞれの場所でできることを実践す ・同じゴールを目指せるよう仲良く行政にも働きかける ・若い世代が高齢者と子どもを守っていくためにも, 東山区を住みよいまちにするためにも, 今日のような話し合いの場を多くもちたい ・定期的に今日のような集まりをもち, 常に情報交換できる一つの行事になればおもしろい ・ここに住んでいる人をお互い知ることから始め, 外から見た京都・東山を知り, 気持ちよく過ごせるまちにするために, 若い世代からいろいろ提案したい ・皆で考えて, アイデアを出し合い, 具体的な活動を進めていく ・東山の良さを知り, よりよいまちづくりについて関心をもっていく ・住民が意見をぶつけやすい区役所づくり

